



Hewlett Packard
Enterprise

HPE OneView 5.2 および 5.20.01 (HPE Synergy 用) リリースノート

摘要

本書では、HPE OneView 5.2 および 5.20.01 (HPE Synergy 用) の新機能、インストールとアップデート手順、および既知の制限事項について説明します。このリリースは、HPE OneView を搭載した HPE Synergy コンポーザーを使用する HPE Synergy 上のコンピュータモジュール、インターコネクト、およびストレージシステムの構成、管理、およびトラブルシューティングを行う管理者を対象としています。

ご注意

本書の内容は、将来予告なしに変更されることがあります。Hewlett Packard Enterprise 製品およびサービスに対する保証については、当該製品およびサービスの保証規定書に記載されています。本書のいかなる内容も、新たな保証を追加するものではありません。本書の内容につきましては万全を期しておりますが、本書中の技術的あるいは校正上の誤り、脱落に対して、責任を負いかねますのでご了承ください。

本書で取り扱っているコンピューターソフトウェアは秘密情報であり、その保有、使用、または複製には、Hewlett Packard Enterprise から使用許諾を得る必要があります。FAR 12.211 および 12.212 に従って、商業用コンピューターソフトウェア、コンピューターソフトウェアドキュメンテーション、および商業用製品の技術データ (Commercial Computer Software, Computer Software Documentation, and Technical Data for Commercial Items) は、ベンダー標準の商業用使用許諾のもとで、米国政府に使用許諾が付与されます。

他社の Web サイトへのリンクは、Hewlett Packard Enterprise の Web サイトの外に移動します。Hewlett Packard Enterprise は、Hewlett Packard Enterprise の Web サイト以外の情報を管理する権限を持たず、また責任を負いません。

商標

Intel[®]、インテル、Itanium[®]、Optane[™]、Pentium[®]、Xeon[®]、Intel Inside[®]および Intel Inside ロゴは、インテルコーポレーションまたはその子会社のアメリカ合衆国およびその他の国における商標または登録商標です。

Microsoft[®]および Windows[®]は、米国および/またはその他の国における Microsoft Corporation の登録商標または商標です。

Adobe[®]および Acrobat[®]は、米国 Adobe Systems Incorporated の登録商標です。

Java[®]および Oracle[®]は、Oracle および/またはその関連会社の登録商標です。

UNIX[®]は、The Open Group の登録商標です。

すべてのサードパーティのマークは、それぞれの所有者に帰属します。



目次

HPE OneView 5.2 および 5.20.01 のリリース情報.....	5
はじめに.....	5
HPE OneView 5.2 および 5.20.01 (HPE Synergy 用) で提供される主な変更点.....	5
HPE OneView 5.2 および 5.20.01 の主な新機能.....	8
アプライアンスのインストールとアップデート時間.....	14
アップデート後のアプライアンスのバックアップ.....	14
問題と推奨処置.....	16
HPE OneView でカスタム SPP 作成時に署名ファイルがないという誤ったアラートが表示される.....	16
QoS を編集するか、論理インターコネクトを再構成すると、インターコネクトが構成エラーになる.....	16
ToR スイッチがリブートされると、誤った LAG ステータスにより、論理インターコネクトページでアラートがトリガーされる.....	16
データベースで使用できるにもかかわらず、ストレージシステムのインデックス関連付けが見つからない.....	17
外部ファームウェアレポジトリの使用中に、HPE OneView アプライアンスが、ディスク容量不足を報告する.....	17
ファームウェアがベースラインにアップデートされたにもかかわらず、HPE OneView サーバープロファイルにベースライン不整合の警告メッセージが表示される.....	17
未割り当てのサーバープロファイルを再割り当てするときに、サーバープロファイルへの変更がサーバーに適用されない場合がある.....	18
Internet Explorer のコンテキスト依存ヘルプの制限.....	18
ダウンリンクポートの速度変化により、FCFA LUN の入出力 (IO) 動作が遅くなる.....	18
sFlow が有効になっている同一 VLAN 上にあるサーバーの DHCP トラフィックを HPE OneView で受信できない.....	19
停電からの復旧により、HPE OneView のインターコネクトモジュールが未構成の状態のままになる.....	19
カスタマイズされた帯域幅構成が論理インターコネクト GUI に表示されない.....	19
ブラウザに HPE OneView インターフェイスが表示されない.....	20
IP アドレスの変更が原因で HPE OneView のデバイスにアクセスできない.....	20
HPE OneView でサーバープロファイルを正常に削除できない.....	20
複数のクラスタープロファイルの作成またはインポート後に、整合性確認に時間がかかる.....	20
HPE iLO の Active Health System が、HPE OneView によって管理されるサーバーハードウェアの変更を記録できない.....	21
HPE OneView の接続のコンプライアンス確認が正しくない.....	21
サーバーのプロファイル設定とサーバーのハードウェア構成との不一致が、リストア、バックアップ、および再イメージ後に報告される.....	21
ダウンリンク速度が変更されると、構成されたローカルポート監視が機能しなくなる.....	21
iLO の CNSA モードの制限事項.....	22
英語以外のディレクトリサーバーのグループ名が一部のブラウザで表示されない.....	22
iLO 5 の HPE OneView SNMP 構成に関する問題.....	22
HPE OneView の Web サーバー証明書をアップデートできない.....	22
スキャンツールによって脆弱な SSH 暗号の問題が報告される.....	23
異なる展開ネットワークで別の論理エンクロージャーにサーバープロファイルを移動できない.....	23
ESXi FCoE Boot from SAN.....	24
期限切れの証明書を解決するための指示の不一致.....	24

ToR スイッチが送信モードで構成されている場合、HPE Synergy 4820C 10/20/25Gb コンバージドネットワークアダプターからの FCoE 接続でファブリックログインリクエストに失敗する.....	24
HPE OneView は、3PAR および Primera Persistent Ports ペアのさまざまなインターコネクトモジュールへの直接接続をサポートすることができない.....	25
HCP (ハイパーバイザークラスタープロファイル) をインポートすると、無効な OS 展開プランを設定することができる.....	25
HPE OneView 5.2 および 5.20.01 (HPE Synergy 用) に関する注意..	26
ドキュメントの補足 5.2.....	29
HPE Synergy のドキュメントリソース.....	30
HPE Synergy ファームウェアアップデートリソース.....	31
HPE Synergy ドキュメントの概要 (ドキュメントマップ)	33
Web サイト.....	35
HPE OneView Remote Technician.....	36
サポートと他のリソース.....	37
Hewlett Packard Enterprise サポートへのアクセス.....	37
アップデートへのアクセス.....	37
リモートサポート (HPE 通報サービス)	38
保証情報.....	38
規定に関する情報.....	38
ドキュメントに関するご意見、ご指摘.....	39



HPE OneView 5.2 および 5.20.01 のリリース情報

はじめに

このドキュメントでは、HPE OneView 5.2 および 5.20.01（HPE Synergy 用）のリリース情報を提供します。

対象読者	関連情報
すべてのユーザー	<ul style="list-style-type: none">・ 主要な新機能・ 関連製品および技術ドキュメントの見つけかたに関する サポートと他のリソース
新しいアプライアンスをインストールするか、以前の HPE OneView バージョンからアップデートするユーザー。	<ul style="list-style-type: none">・ アプライアンスのインストールとアップデート時間・ HPE OneView 5.2 および 5.20.01（HPE Synergy 用）の使用に関する 問題と推奨処置

HPE OneView の詳細については、**[Hewlett Packard Enterprise Information Library](#)** を参照してください。

HPE OneView の以前のバージョンやアップグレードパスについて詳しくは、**[HPE OneView ライフサイクルページ](#)**を参照してください。

❗ **重要:** この製品には、リリースされていない製品または機能への参照が含まれる場合があります。Hewlett Packard Enterprise は、そのような製品または機能を商業的にリリースまたはサポートしない権利を留保します。

HPE OneView 5.2 および 5.20.01（HPE Synergy 用）で提供される主な変更点

HPE OneView 5.20.01 で提供される変更点

- ・ HPE Synergy コンポーザー（第 1 世代）または HPE Synergy コンポーザー 2 上の HPE OneView 5.2 へのアップグレードの成功後、プライマリノードのコンポーザーが失敗し、スタンバイノードのコンポーザーがクラスターを再結合できないというエラーが断続的に発生する問題を解決します。
- ・ アプライアンスへの初回インストールが 3.00.08 以前のバージョンだった場合に、HPE OneView 5.0 から 5.2 へのアップグレードが 30%で失敗する問題を解決します。

HPE OneView 5.2 で提供される変更点

- ・ ハードウェアの検出後、HPE OneView がアップデートされたユーザー認証情報を保存しない問題を解決します。アプライアンスに、クリアできない認証エラーが表示されます。
- ・ 論理インターコネクト (LI) ページで設定されたファームウェアベースラインが、適用されたシステムベースラインに反映されない問題を解決します。ユーザーが HPE OneView の SAS 接続モジュールに

設定されているベースラインを決定するには、LI ページのファームウェアベースラインをシステムベースラインに設定またはリセットする必要があります。

- ・ HPE Virtual Connect SE 40Gb F8 モジュールと双方向トランシーバー 841716-B21 を併用すると、HPE OneView GUI に正確な DDMI 情報が表示されない問題を解決します。
- ・ クラスターまたは仮想 IP アドレスから HPE OneView にアクセスしようとすると 421 間違ったリクエストエラーメッセージが表示される問題を解決します。
- ・ HPE OneView が iLO に割り当てられた重複した IP アドレスを保持し、HPE Synergy コンポーザー（第 1 世代）で構成の問題を引き起こす問題を解決します。
- ・ hprof ファイルが大量のメモリを占有しているために、作成されたサポートダンプで /ci/logs 情報が報告されなかった問題を解決します。
- ・ HPE OneView のバージョン 5.00.02 へのアップグレードが 10%の進行中に失敗し、update.log ファイルに理由を示さない問題を解決します。
- ・ VLAN を論理インターコネクトグループに追加した後、グループからアップデートのアクションで新しい構成が統合されない場合、HPE OneView がアラートをログに記録する問題を解決します。
- ・ ノードの再イメージ化とクラスターを再結合するためのスタンバイノードの工場出荷時設定リセットのケースに対処するために、アラートの頻度を改善して問題を解決します。
- ・ アプライアンスのリストア後、セキュア分散メッセージングプロトコル（SDMP）の作成タスクが無期限に実行される問題を解決します。
- ・ SAN ゾーニングポリシーをシングルイニシエーター/すべてのターゲットポリシーからシングルイニシエーター/シングルターゲットに変更し、SAN の変更が発生するたびに多数の登録状態変更通知（Registered State Change Notifications、RSCN）が生成されないようにするために問題を解決します。
- ・ DD イメージのインストール中に IP のインストールが失敗すると、HPE OneView がアラートを生成できない問題を解決します。
- ・ インストールスクリプトのアップロード時、アプライアンスへの DD イメージのインストールに失敗する問題を解決します。
- ・ ファームウェアコンプライアンスダッシュボードが準拠しているにもかかわらず、HPE Synergy 共有インフラストラクチャコンポーネントが非準拠として表示されることがある問題を解決します。
- ・ Synergy コンソール（フロントパネルインターフェイス）接続を使用して HPE OneView でエンクロージャーグループを編集するとエラーメッセージが表示される問題を解決します。この問題は [カスタマーアドバイザー](#) で文書化されています。
- ・ HPE Virtual Connect SE 16Gb ファイバーチャネルモジュールを、Synergy トランキングモードをサポートしているファームウェアにアップデートしても、論理インターコネクトと論理インターコネクトグループ間の適合性チェックがトリガーされない問題を解決します。HPE Virtual Connect SE 16Gb ファイバーチャネルモジュールのファームウェアバージョンが Synergy トランキングモードをサポートしていない場合、アップリンクセットを作成したり適合性チェックを実行したりできません。
- ・ [カスタマーアドバイザー](#) に記載されているように、HPE OneView のアップグレードが失敗する可能性がある問題を解決します。
- ・ HPE OneView で 1.40 より前の iLO5 ファームウェアバージョンをバージョン 2.xx 以降に正常にアップデートできないという問題を解決します。この問題は [カスタマーアドバイザー](#) で文書化されています。
- ・ [カスタマーアドバイザー](#) で説明されているようにいくつかの拡張手順が実行されない問題を解決します。
- ・ UI 関連の問題が原因で HPE OneView でサーバープロファイルテンプレートを編集できない問題を解決します。

- ・ 論理インターコネクトグループの作成中に、論理インターコネクトの[グループからアップデート]にネットワークセットから追加されたネットワークが表示されない問題を解決します。
- ・ ドライブエンクロージャーの検出または更新中に HPE OneView が無効なベイ番号を取得していた問題を解決します。ベイ番号が無効な場合、ドライブエンクロージャーの電源ステータスが不明と報告されます。
- ・ サーバープロファイル上のストレージボリュームアタッチメントが 128 を超えると、プロファイルの作成またはアップデートが説明なく失敗する問題を解決します。タスク失敗メッセージを改善して、サーバープロファイルでサポートされるボリュームアタッチメントの最大数を示します。
- ・ モジュールを削除して再挿入しても、HPE OneView で HPE Synergy 用の HPE Virtual Connect SE 40Gb F8 モジュールを正常に追加できない問題を解決します。
- ・ 論理ドライブで書き込みキャッシュを有効にすると、論理エンクロージャーのファームウェアのアップグレードが失敗する問題を解決します。
- ・ 論理ドライブの順序が、サーバープロファイルテンプレートから作成された場合、サーバープロファイルで反転する問題を解決します。順序の変更は、自動展開時に間違ったディスクがブートボリュームとして選択される原因となります。
- ・ HPE OneView 4.1 以降で SAN マネージャーへのアクセスが失敗し、最初に HPE OneView 3.x に追加された SAN マネージャーの認証情報が変更される問題を解決します。
- ・ ハードゾーンで SAN を更新するときの HPE OneView のメッセージを改善します。
- ・ ファームウェアのアップグレードが正常に完了した後、インターコネクトページに 2020.01 ではなく誤った SPP バージョン 2019.09 が表示される問題を解決します。
- ・ サポートダンプの作成時に HPE OneView でフレームリンクモジュール情報をダウンロードできない問題を解決します。このサポートダンプ情報がないと、問題をトリアージできなくなります。
- ・ ファームウェアベースラインを含むサーバープロファイルを HPE Gen10 サーバーに実際に適用したときに、ファームウェアがアップデートされなかったことをサーバープロファイルが示す可能性がある問題を解決します。HPE OneView に次のメッセージが表示されます。
 ファームウェアアップデート操作で、1 つ以上のコンポーネントをアップデートできませんでした。ファームウェアベースラインを再度適用して、展開操作を再度実行してください。問題が続く場合は、認定サポート担当者に連絡し、サポートダンプを提供してください。
- ・ HPE OneView のテンプレートからアップデートダイアログボックスのエラーの表示を改善します。
- ・ **カスタマーアドバイザリ**で説明されているように、サーバープロファイルを参照するときにデータテーブルの警告が表示される場合がある問題を解決します。
- ・ SAN テーブルの情報が重複すると、SAN マネージャーの更新が正常に完了しない問題を解決します。
- ・ 複数のボリュームを更新した後でも、サーバープロファイルの SAN ボリュームアタッチメントに関する予期しないエラーがクリアされないという問題を解決します。
- ・ サーバーを取り外して再度挿入した後、自動ターゲットポートが定義されている SAN からサーバーが正常に起動しない問題を解決します。
- ・ iLO にシングルサインオンするときに、次の HPE OneView の役割がオペレーターの役割に正しくマップされない問題を解決します。
 - サーバーファームウェアオペレーター
 - サーバープロファイル設計者
 - サーバープロファイル管理者
 - サーバープロファイルオペレーター

- ・ HPE OneView でサーバープロファイルテンプレートを削除しようとする、ハイパーバイザークラスタープロファイルが編集できない状態のままになる問題を解決します。
- ・ HPE OneView をバージョン 4.0 以降にアップグレードする際、GET および DELETE API 呼び出しでエンドポイント/rest/global-settings で適切な http ステータスコードが返されない問題を解決します。
- ・ SAN ストレージターゲットを手動でロードバランシングしているときに、サーバープロファイルテンプレートモードがサーバープロファイルについて最小一致として設定されている場合、ターゲットポートの整合性に関するコンプライアンスアラートが HPE OneView で表示される問題を解決します。
- ・ HPE OneView が Active Directory 組織ユニットの特殊文字を処理できないため、ドメインユーザーが HPE OneView にログインできない問題を解決します。
- ・ HPE OneView でサーバープロファイルが作成された後、HPE イメージストリーマー OS ボリュームへのアクセスがブロックされ、サーバープロファイルに関連付けられたブレードの OS ボリュームが表示されない問題を解決します。
- ・ HPE イメージストリーマーからの HPE OneView ホスティング OS ボリュームの VSA ストレージクラスターが使用できなくなり、すべての OS ボリュームが失われる可能性がある問題を解決します。
- ・ サーバーのメトリック容量値が、HPE OneView の電力使用率の計算に影響を与える最大割り当て電力よりも小さい問題を解決します。
- ・ サーバーを再起動しても、サーバープロファイルのテンプレートからアップデートするとき、およびサーバーが電源オンの状態にあるときに、HPE OneView が OS ボリュームを正常に展開できない問題を解決します。
- ・ クラスター形成が試行されたときに過剰なコアダンプが原因で、HPE OneView が/var ファイルシステムのディスクフルエラーを報告する問題を解決します。
- ・ HPE OneView のコンプライアンスダッシュボードに、現在アプライアンスで利用できないリソースの古いデータが表示される問題を解決します。
- ・ HPE OneView で同時に複数のアラートが生成されると、通知メールが失われるか遅延する問題を解決します。

HPE OneView 5.2 および 5.20.01 の主な新機能

アプライアンス

- ・ **アップデートの信頼性の向上**

整合性と信頼性を維持するためにデータベースのアップデートの堅牢性を改善しました。

- ・ **アップデート時間の短縮**

HPE OneView 5.2 にアップデートすると、HPE OneView 5.0 にアップデートする場合と比較して、アップデート時間が最大 55%短縮されます。HPE OneView 5.0 からアップデートするおよび HPE Synergy コンポーザー 2 を使用することで、最速のアップデート時間を実現します。

注記: アップデート時間の短縮率は、内部テストに基づいています。

- ・ **HPE OneView Update Readiness Checker**

HPE OneView Update Readiness Checker は、アップデートに進む前に、一連の既知の条件について HPE OneView アプライアンスの正常性を評価するために使用できます。

このチェッカーをダウンロードするには、<https://www.hpe.com/support/ov-urc> にアクセスしてください。

詳細については、HPE OneView 5.2 (HPE Synergy 用) ユーザーガイドと、ダウンロードに含まれる README ファイルを参照してください。

・ **プライマリ展開アプライアンスの変更**

HPE OneView および HPE Synergy イメージストリーマーの 5.2 リリース以降、プライマリ展開アプライアンスの変更は非推奨になりました。詳しくは、サポート担当者にお問い合わせください。

・ **サーバープロファイルテンプレートで LAG 設定のサーバープロファイルの整合性の追跡を有効にする**

この機能は、プロファイルテンプレートの整合性確認を拡張して、サーバープロファイルテンプレートとそれに関連付けられたサーバープロファイルの間の LAG 設定の違いを検出します。サーバー管理者は、違いを解決し、サーバープロファイルの設定をサーバープロファイルテンプレートの設定に合わせることができます。

ファームウェアのアップデート

Gen9 サーバーのファームウェアコンプライアンスダッシュボードのサポート

HPE Gen9 サーバーへのコンプライアンスダッシュボードのサポートを拡張しました。この機能により、すべての Gen9 および Gen10 サーバーのファームウェアコンプライアンスと、および HPE Synergy の共有インフラストラクチャを管理できます。新しい SPP をアプライアンスに追加すると、HPE OneView は、インストールされている管理対象ハードウェアのファームウェアバージョンを、追加された SPP の新しいコンポーネントバージョンと比較し、コンプライアンスレポートを生成します。さらに、この機能により、フィルターを適用し、Excel および csv 形式にレポートをエクスポートできます。

サポートのエクスペリエンス

・ **HPE OneView メンテナンスモード - メール通知**

サーバー管理者またはインフラストラクチャ管理者がシステムメンテナンス中にサーバーをメンテナンスモードにできる機能を導入しました。

メンテナンスモードのサーバーの場合：

- ・ すべてのメール通知が抑制される
- ・ Remote Support のデータ収集が一時中止される
- ・ Remote Support サービスイベントが送信されない

上記は、そのサーバーのメンテナンスモードを手動で無効にするまで有効のままです。抑制された通知は、メンテナンスモードを終了すると送信されません。

・ **カスタマーが実施可能なイベント**

このリリース以降、HPE OneView にユーザーからの修正アクションを必要とするサービスアラートが追加されます。これは、サービスアラート (Remote Support アラート) に加えて、HPE データセンターでケースを作成するイベント用です。たとえば、ユーザーにとって関心のあるシステムメンテナンスに関連する新しいサービスアラートがありますが、HPE サポート契約の対象ではありません。

・ **サーバーのクリティカルな障害**

HPE OneView が iLO サーバーのクリティカルな障害イベントを認識し、HPE データセンターでケースを作成する HPE Remote Support 機能を改善しました。このイベントタイプは iLO に存在しましたが、HPE Remote Support ではキャプチャーおよび報告されませんでした。

・ **カスタムデリバリ ID**

HPE OneView は、HPE データセンターに代替ケースルーティング機能を提供し、作成されたケースを正しいソリューションチームにルーティングできるようにします。個別のシステムについて、またはグローバル値としてカスタムデリバリ ID 値を構成して、そのユーザーのケースが正しいキューに確実にルーティングすることができます。

- ・ **選択可能なサイズのサポートダンプ**

HPE OneView では、HPE サポート担当者からの指示に従って、アプライアンスサポートダンプの適切なログファイルを選択できます。ファイルを選択するオプションにより、ファイルサイズが小さくなり、転送が容易になります。

- ・ **HPE Pointnext サポートのためのより簡単なアプライアンスと HPE Synergy SAS ログ分析**

HPE Pointnext サポートを支援する新しいツールにより、サポートケースの解決が加速されます。

インフラストラクチャのプロビジョニング管理エクスペリエンス

- ・ **HPE Synergy フレーム - 静的 IP アドレスの割り当て**

HPE OneView は、HPE Synergy、HPE Synergy コンピュートモジュール、または IC ベイハードウェアで IP アドレスを構成する機能を提供します。この機能は、HPE Synergy のコンピュートまたは IC ベイごとに静的 IPv6 または IPv4 アドレスの割り当てをサポートします。

- ・ **一括ネットワーク削除操作の複数選択**

HPE OneView では、HPE Synergy ユーザーは複数選択操作を実行し、複数のネットワークを一括削除できるため、ネットワーク管理エクスペリエンスが向上します。

- ・ **稼働状態モニターからの iLO ログエントリの削減**

HPE OneView のログインおよびログアウトの頻度を最小限に抑えることで、重要な iLO ログ情報の履歴をより長く残すことができます。

- ・ **ストレージプールの予約済み容量値のレポート機能の追加**

この機能を使用すると、予約済み容量の値を仮想アレイストレージプールの値に追加することができます。HPE 3PAR、Primera、および Nimble ストレージシステムのストレージ管理者は、プールごとの予約済み容量比 (SubscribedCapacity/TotalCapacity の値) を計算することができます。ストレージ管理者は、ストレージプールの容量に応じて新しいボリュームを配置できます。

- ・ **Nimble 5.1 サポート - iSCSI Group Scoped Target**

この機能を使用すると、HPE OneView は Nimble ストレージアレイを管理してバージョン 5.1 にアップグレードできます。アップグレード後、新しいデフォルトのアドレス指定、Group Scoped Target (GST) を使用した iSCSI ボリュームアタッチメントの構成などの機能を使用できます。

- ・ **マルチノード/カブレットへの SAN ストレージパスのロードバランシング - 3PAR、HPE Primera、Nimble**

この機能を使用すると、ノードおよびカブレット間での SAN ボリュームアタッチメントの構成パスのロードバランシングを実行できます。ロードバランシングは、HPE Primera、3PAR、および Nimble アレイコントローラーに対して行われ、パスのフォールトトレラントな自動構成を実現します。SAN ストレージ (ブートとデータ) を備えた単一のサーバープロファイルテンプレートからサーバープロファイルを作成して割り当てると、ボリュームアタッチメントのパス構成は、SAN リソース全体で自動的にロードバランシングを行います。異なる SAN 上の同じポートグループに割り当てられているポートは、サーバープロファイルと一緒に割り当てられます。

- ・ **ネットワーク - HPE Synergy Fabric**

- **HPE Synergy と Cisco ACI の統合**

HPE OneView 4.1 は、Cisco APIC ポリシーを理解し、それらを HPE OneView リソースにマップする機能を提供し、HPE Synergy と Cisco ACI 環境のシームレスな統合を可能にします。HPE OneView 5.2 のリリースに伴い、HPE OneView はその基盤で構築し続け、以下を含むより詳細な統合機能を導入します。

- HPE OneView ファブリックマネージャーと Cisco ACI 間の構成変更の自動修正。ユーザーによる手動操作は必要ありません。
 - 監視対象のテナントリソースについて、HPE OneView ファブリックマネージャーと Cisco ACI 間の不整合の追跡を確認、無視、停止する機能。
 - HPE OneView ファブリックマネージャーは、HPE OneView および HPE Synergy 管理構成のセットの一部ではない Cisco リーフスイッチインターフェイスおよび EPG を除外するための拡張分析エンジンを提供します。
 - 自動作成されたネットワーク名にカスタムの名前を追加して、テナントとエンドポイントグループの両方の名前を含めます。
 - HPE OneView ファブリックマネージャーはスケーラビリティを向上させ、最大 7 台の APIC コントローラーをクラスターの一部として追加できます。
 - HPE OneView ファブリックマネージャーは、テナント名でネットワークとネットワークセットをフィルターする機能を提供するように拡張されています。
 - HPE OneView ファブリックマネージャーは、すでに展開されているネットワークセットにネットワークを直接追加することで、不整合を自動修正する機能を提供します。
- **VC SE 100Gb F32 および VC SE 40Gb F8 モジュールの機能強化**
 - **LACP ロードバランシング、LAG 形成フェイルオーバーの改善**

この機能は、トラフィックロードバランシングおよび分散に関連する VC ベースのインターコネクトモジュール (ICM) の拡張機能をサポートします。HPE OneView 5.2 は、Virtual Connect ICM の新機能を導入し、ICM 全体で利用可能な帯域幅とトラフィックのバランスを最大化するように設計されたリンクアグリゲーショングループ (LAG) の形成とフェイルオーバーについて予測可能な動作を実現します。追加機能により、使用可能な最大帯域幅とアップリンクセット内のポート数に基づいて、より予測可能な LAG の形成とフェイルオーバーが可能になります。
 - **32Gb FC 直接接続のサポート**

この機能は、HPE Synergy Virtual Connect SE 100Gb F32 モジュールが、HPE 3PAR、Nimble FC ストレージシステム、および Primera ストレージシステムに直接接続する機能を提供します。この方法により、ストレージエリアネットワーク (SAN) ファブリックが不要になり、SAN 管理が簡素化されます。
 - **iSCSI で拡張するマスター/サテライトのサポート**

この機能は、HPE Synergy 環境が小さなフレームのセットから大きなフレームのセットに成長するときに、HPE Synergy ユーザーにシームレスで中断を伴わないスケーリング機能を提供します。具体的には、この機能は、既存の LIG および EG からエンクロージャーの関連付けを解除する必要がなく、また元の環境を停止させることなく、エンクロージャーを LE および LI に動的に追加します。この機能の中断のない側面は、既存の EG または LE の一部であるエンクロージャーでトラフィックを実行しているサーバー、および変更後も EG または LE に残るエンクロージャーに適用されます。
 - **IGMP マルチキャストの機能強化**

HPE OneView 5.2 は、未承諾マルチキャストトラフィックのフラッディングを防止し、IGMP スヌーピングプロキシレポートの有効化を制御する機能を追加することにより、IGMP スヌーピングの現在のサポートに基づいて構築されています。
 - **VC SE 100Gb F32 および VC SE 40Gb F8 モジュールのミラーポートの数の増加**

この機能により、ミラーリングされたダウンリンクポートの数が、論理インターコネクトごとに 16 ポートから最大 60 ポートに増えます。この機能は、ローカルポートミラーリングとリモートポートミラーリング (RSPAN と呼ばれます) の両方に適用できます。

- **VC SE 100Gb F32 および VC SE 40Gb F8 モジュール用の HPE OneView でこのイベントに
応答する LAG フラッピングとアラートの検出**

HPE OneView は、VC インターコネクトの LAG ステータスを継続的に監視し、断続的な LAG 問題を検出した場合、HPE OneView はユーザーに警告メッセージとポートステータスの変更を警告します。

- ・ **IPv6 専用モードでの HPE Synergy の Remote Support**

HPE Synergy コンポーザーが IPv4 モードに加えて IPv6 専用モードで構成されている場合、Remote Support が提供されます。

HPE Synergy サーバー

HPE Synergy フレームの電源管理 - 基本電力モードの追加

Synergy エンクロージャーグループの電源モードを設定する基本電力モードオプションを導入します。このモードでは、すべての電源冗長機能がオフになり、システムパフォーマンスは電力を考慮して調整されません。このモードではシステムパフォーマンスに制限はありませんが、電源中断により予期しない結果が生じる可能性があります。

このオプションは、既存の冗長給電装置と冗長電源装置に追加されます。これらの 2 つのモードでは、Synergy 電力管理システムはシステムパフォーマンスを変更して、適切な量の冗長性を提供するか、または電源イベントに応答することができます。

OneView からのみハイパーバイザークラスタープロファイルを削除

この機能では、ハイパーバイザークラスタープロファイルを使用して、クラスターの管理を停止できます。ハイパーバイザークラスタープロファイルと関連するハイパーバイザープロファイルを HPE OneView から削除できます。HPE OneView の関連するサーバープロファイルは変更されません。この操作により、クラスターで実行されているワークロードが中断されることはなく、ハイパーバイザークラスターはハイパーバイザーマネージャーにそのまま残ります。

HPE OneView 管理対象サーバーに適用される機能

ファームウェア

- ・ **パラレルファームウェアアップデートパフォーマンスの改善**

この機能は、複数の類似した Gen10 サーバーがアップデートされている場合のインストール時間を改善するための論理エンクロージャーファームウェアアップデートを対象としています。

- ・ **ファームウェアアップデートの堅牢性と柔軟性の改善**

この機能により、Gen10 以降のサーバーでのファームウェアアップデートの柔軟性が向上します。この拡張機能により、HPE OneView は自動的にアップデートを再実行して、最初のインストール試行中にドライバー依存関係の障害が発生したファームウェアコンポーネントをインストールします。

以前は、ドライバーコンポーネントが新しいファームウェアと互換性がない場合、HPE OneView は新しいドライバーに依存するファームウェアコンポーネントを適用できませんでした。このアップデートでは、HPE OneView は最初の試行に必要な新しいドライバーをインストールし、次にアップデートを再実行して、最初の実行ではインストールできなかったファームウェアをインストールします。この機能は、最初の実行時の一時的なエラーが原因で失敗した可能性のあるコンポーネントも再試行します。

サーバー

- ・ **iLO 4 サーバーのインベントリの強化**

この機能により、デバイス、メモリ、ディスクコントローラー、およびディスクドライブが Gen9 サーバーの HPE OneView インベントリに追加されます。インベントリ情報は、API または UI を介して利

用でき、インベントリされた各デバイスに関する詳細情報が含まれています。この機能は、以前は iLO 5 サーバーでのみ利用可能でした。

- ・ **UI および API に表示される iLO ライセンスタイプ**

現在 iLO にインストールされているライセンスタイプが、サーバーハードウェアの詳細画面と HPE OneView API に表示されます。ライセンスフィールドは、iLO Advanced のようなプレーンテキストを使用するか、キーワード `mpLicenseType` を使用してサーバーハードウェアでも検索できます。たとえば、ライセンスのないすべての iLO を検索するには、サーバーハードウェア画面に移動して、検索フィールドに `mpLicenseType:` と入力します。

- ・ **ユーザーインターフェイスおよび API を使用したサーバーで実行されている OS の表示**

HPE OneView で、サーバーハードウェアの詳細画面で、および HPE OneView API を使用して、サーバーオペレーティングシステム名とバージョンを表示できるようになりました。

OS フィールドは、Windows のようなプレーンテキストを使用するか、キーワード `operatingSystem` を使用してサーバーハードウェア画面でも検索できます。たとえば、RHEL 7.3 を実行しているすべてのサーバーを検索するには、サーバーハードウェア画面に移動して、検索フィールドに `operatingSystem:"Red Hat Enterprise Linux Server 7.3"` と入力します。この機能は、Agentless Management Service (AMS) がインストールされている OS を実行している Gen10 以降のサーバーでのみ使用できることに注意してください。

- ・ **API 経由の SSD ウェアレベル - Gen 10 サーバー**

ソリッドステートディスクのウェアレベルに関する情報は、OneView REST API を介して、サーバーハードウェアストレージインベントリのサブリソースの下にあるディスクドライブインベントリデータの一部として利用できるようになりました。この情報は、Gen10 以降のサーバーでのみ利用できます。

ストレージ

HPE Primera のサポート

HPE OneView は、Primera ストレージシステムの自動プロビジョニングをサポートするようになりました。HPE OneView ユーザーは、サーバー、接続、SAN ゾーニング、Primera ストレージブートまたはデータボリュームのプロビジョニングを自動化できます。HPE OneView は、サーバープロファイルテンプレートとサーバープロファイルから、Primera SAN ベースのストレージに自動化されたプールベースのプロビジョニングを提供します。

HPE OneView は、従来の FC SAN または HPE Flat SAN ベースの展開もサポートしています。ポリシーベースの SAN ストレージプロビジョニングを使用すると、ユーザーはネットワークストレージのプロビジョニング時間を大幅に削減し、手動による構成エラーを回避できます。HPE OneView は、Primera、StoreServ、および Nimble ストレージシステムに一貫した自動ストレージプロビジョニングエクスペリエンスを提供します。

セキュリティとアプライアンス

- ・ **証明書失効リストの自動取得**

HPE OneView は、証明書の失効チェックを保証する証明書失効リスト (CRL) を自動的に取得するようになりました。これにより、CRL を HPE OneView アプライアンスに手動でアップロードするプロセスが不要になります。これは、**設定タブのセキュリティセクション**の GUI で簡単に有効または無効にできます。

- ・ **GUI の制限付きスコープフィルタリング**

GUI の制限付きスコープフィルタリングにより、HPE OneView 管理者は、アプライアンスで管理されるリソースのサブセットへのさまざまなユーザーによるアクセスを制限できます。これは、IT 運用担当者またはサービスプロバイダーアカウントがアクセスする権限を持つリソースのみにビューを制限または分割する必要がある IT 運用チームおよびサービスプロバイダーにメリットがあります。この制限付きアクセスは、HPE OneView GUI によって適用され、REST API では適用されません。

- ・ **WCAG - 色とコントラスト**

この機能強化により、中程度の低視力のユーザー向けに、テキストとその背景とのコントラストが強調されます。また、色のコントラストも強調されるため、情報の読みやすさとアクセス性が改善し、視覚障害のあるユーザーにも使いやすくなっています。この機能は、Web Content Accessibility Guidelines (WCAG) 2.0 のセクション 1.4.3 に準拠しています。

アプライアンスのインストールとアップデート時間

アップデートイメージファイルは、<https://www.hpe.com/downloads/synergy> の HPE Synergy ソフトウェアリリースで入手できます。

HPE Synergy コンポーザーをアップデートするには、レポートが数回必要です。アップデートは、高可用性構成のアクティブコンポーザーとスタンバイコンポーザーの両方で実行されます。

HPE OneView 5.0 から HPE OneView 5.2 へのアップデート

レポートを含め、両方のコンポーザーでアップデートを完了するための合計時間は、HPE Synergy コンポーザー 2 の場合は約 1.5 時間、HPE Synergy コンポーザー（第 1 世代）の場合は 2.5 時間です。

HPE OneView 4.2 から HPE OneView 5.2 へのアップデート

アクティブコンポーザーがまずアップデートを完了し、約 3 時間後に使用可能になります。レポートを含め、両方のコンポーザーでアップデートを完了するまでの合計時間は約 5 時間です。

HPE OneView 4.2 からのアップデート中、ブラウザには進行状況バーが表示され、プライマリコンポーザーのプロセスの完了率が示されます。14%または 15%が表示されると、次の進行状況バーのアップデートまで約 20 分かかります。進行状況バーが 30%を表示すると、アップデートプロセスの主要部分が実行されます。進行状況バーにこのパーセンテージが表示されるのは、小規模構成（3 エンクロージャー構成など）の場合は約 35 分間、最大規模かつフル装備の 21 エンクロージャー構成の場合は最大 2 時間かかります。55%から 100%の表示まで、大規模構成では約 1 時間かかります。アップデートが完了すると、HPE OneView リソースマネージャーが管理対象環境のビューを更新します。これにかかる時間は、管理対象環境のサイズに比例して変わります。バージョン 5.2 では、全体的な更新時間は変更されていません。

注記:

- これらの進行中は、コンポーザーまたはコンポーネントを再起動したりリセットしないでください。中断した場合は、バックアップからのリストアが必要になります。

アップデートについては、[Hewlett Packard Enterprise Information Library](#) の HPE OneView（HPE Synergy 用）ファームウェアとドライバアップデートガイドを参照してください。

- HPE OneView バージョン 4.2 以降からアップデートする場合は、HPE OneView Update Readiness Checker の最新バージョンをダウンロード、インストール、および実行して、HPE OneView アプライアンスの正常性を評価します。

このチェッカーをダウンロードするには、<https://www.hpe.com/support/ov-urc> にアクセスしてください。

詳細については、HPE OneView 5.2（HPE Synergy 用）ユーザーガイドと、ダウンロードに含まれる README ファイルを参照してください。

アップデート後のアプライアンスのバックアップ

アプライアンスをアップデートした後に、バックアップファイルを作成してダウンロードします。

アプライアンスのファームウェアバージョンの書式は次のとおりです。

majornumber.minornumber.revisionnumber-buildnumber

バックアップファイルからリストアする場合、アプライアンスのファームウェアバージョンのメジャー番号とマイナー番号は、バックアップが作成されたときのものと同じである必要があります。リビジョン番号とビルド番号は一致しなくても構いません。

HPE OneView 5.2 (HPE Synergy コンポーザー用) と同一のハードウェアモデルで作成されたバックアップファイルのみリストアすることができます。

バックアップを実行する方法の詳細については、[HPE OneView 5.2 \(HPE Synergy 用\) ユーザーガイド](#)を参照してください。



問題と推奨処置

ここでは、このリリースの問題と既知の制限事項について説明します。

HPE OneView でカスタム SPP 作成時に署名ファイルがないという誤ったアラートが表示される

問題

Gen10 以外のサーバーまたは Virtual Connect などのサーバー以外のコンポーネントのファームウェアホットフィックスを使用してカスタム SPP を作成すると、HPE OneView に、署名ファイルをアップロードする必要があるという誤ったアラートが表示されますが、SPP は正常に作成されます。署名ファイルが必要なのは Gen10 サーバーの場合だけです。リソースのステータスは緑色および OK を示しますが、アラートがロックされておりクリアできません。

注記: この問題は HPE OneView 5.2 でのみ発生します。

推奨される処置

カスタム SPP を作成した後に、HPE OneView からホットフィックスコンポーネントを削除します。

QoS を編集するか、論理インターコネクトを再構成すると、インターコネクトが構成エラーになる

問題

QoS の一部として構成された最大帯域幅は、最小帯域幅の値よりも小さくすることはできません。ところが、状況によっては、イーサネットネットワークの最大帯域幅が、同じダウンリンクポート上の FCoE ネットワークの最小帯域幅の値よりも小さい値に設定されている場合に、この問題が発生する可能性があります。

推奨処置

1. イーサネット接続と FCoE 接続の両方が同じ物理ダウンリンクポート上にあるサーバープロファイルを見つけます。
2. 最大帯域幅が FCoE 接続の要求帯域幅よりも小さい値に設定されているイーサネット接続がないか確認します。
3. イーサネットネットワークのハイパーリンクをクリックするか、[ネットワーク]ページでイーサネットネットワークを見つけます。
4. イーサネットネットワークの最大帯域幅を編集して、FCoE 接続の要求帯域幅より大きい値にします。
5. 論理インターコネクト構成を再適用します。

ToR スイッチがリブートされると、誤った LAG ステータスにより、論理インターコネクトページでアラートがトリガーされる

問題

アップリンク LAG のある ToR スイッチがリブートされると、HPE OneView の論理インターコネクト ページでは、ToR の LAG ステータスがアクティブであるにもかかわらず、LAG ステータスがアクティブ からスタンバイに変更されたという警告が返されます。

推奨処置

これは、手動でクリアできる誤ったアラートです。

データベースで使用できるにもかかわらず、ストレージシステムのインデックス関連付けが見つからない

問題

管理対象ストレージシステムの非管理対象ポートが削除されると、HPE OneView はストレージシステム とそれに関連するプールおよびボリュームの間にリンクを描画できません。ただし、REST 情報への影響はありません。

推奨処置

HPE OneView システムを再起動します。

外部ファームウェアレポジトリの使用中に、HPE OneView アプライアンスが、ディスク容量不足を報告する

問題

外部ファームウェアレポジトリを使用している場合、HPE OneView アプライアンスが次のメッセージを表示します。

アプライアンスのディスクスペース使用率が警告しきい値を超えています。

推奨処置

HPE OneView は、パフォーマンス上の理由から、外部レポジトリにあるファームウェアバンドルからメタデータファイルをキャッシュします。レポジトリに多数のファームウェアバンドルが保存されている場合、アプライアンス上のディスクスペースが不足する可能性があります。アプライアンスのディスクスペースを最適に使用するためのベストプラクティスは次の通りです。

- ・ 未使用のファームウェアバンドル ISO とホットフィックスが、外部レポジトリから削除されていることを確認します。
- ・ 同じレポジトリが複数の HPE OneView アプライアンスで使用されている場合、ベストプラクティスは、バンドルを複数のサブフォルダーに分散させた後に、これらのサブフォルダーをそれぞれのアプライアンスに追加することです。

注記: アプライアンスのディスクがいっぱいになる原因は他にもあります。外部ファームウェアレポジトリがない場合、または外部レポジトリにファームウェアバンドルがわずかしかない場合でもこの警告が表示される場合は、認定サポート担当者に連絡し、サポートダンプを提示してください。

ファームウェアがベースラインにアップデートされたにもかかわらず、HPE OneView サーバープロファイルにベースライン不整合の警告メッセージが表示される

問題



新しいファームウェアベースラインを使用したサーバープロファイルの作成または編集が正常に完了します。ただし、プロファイルは次のメッセージを含むアクティブな警告アラートを断続的に返します。

サーバーハードウェアに適用されているファームウェアベースラインが、サーバープロファイル内で選択されているファームウェアベースラインと不整合があります。

推奨処置

1. サーバープロファイルのアクティビティページにアクセスして、アラートをクリアします。
2. ファームウェアオプションのみを選択して、アクションメニューからプロファイルを再適用します。

アラートのクリアが完了すると、数分以内に再適用が完了します。プロファイルが緑色または OK ステータスに移行します。

未割り当てのサーバープロファイルを再割り当てするときに、サーバープロファイルへの変更がサーバーに適用されない場合がある

問題

サーバープロファイルが同じサーバーハードウェアに再度割り当てられると、サーバーハードウェアから割り当てられていない以前に割り当てられたサーバープロファイルは、アップデートされたプロファイル設定を適用できません。特に、サーバープロファイルのファームウェア、BIOS、またはローカルストレージへのアップデートは、サーバーハードウェアに適用されない場合があります。

推奨処置

サーバーにプロファイルを割り当てるときに、ファームウェア、BIOS、ローカルストレージの設定を編集します。

または

プロファイルを割り当てた後、必要に応じて個々の設定を選択して、サーバープロファイルを再適用します。

Internet Explorer のコンテキスト依存ヘルプの制限

問題

HPE OneView のコンテキスト依存ヘルプに、Internet Explorer のバナーと検索オプションが表示されません。

推奨処置

この制限を回避するには、Google Chrome を使用します。

ダウンリンクポートの速度変化により、FCFA LUN の入出力 (IO) 動作が遅くなる

問題

Synergy 用 Virtual Connect SE 100Gb F32 モジュールで、ダウンリンク速度が 50G から 25G または 25G から 50G に変化すると、ダウンリンクポートに関連する構成がフラッシュされます。速度の変化により、ダウンリンクポートが ACL から削除され、ファイバーチャネルトラフィックが影響を受けます。



推奨処置

- ・ 論理インターコネクトのサービス品質 (QoS) 構成をパススルーまたはカスタム (FCoE ロスレスあり) のいずれかに変更して、カスタム QoS 設定を Synergy 用 Virtual Connect SE 100Gb F32 モジュールに適用します。
- ・ 論理インターコネクトでグループからのアップデートを実行して、以前の構成に戻します。

sFlow が有効になっている同一 VLAN 上にあるサーバーの DHCP トラフィックを HPE OneView で受信できない

問題

スイッチとサーバーの sFlow に同じ VLAN を使用すると、サーバーが DHCP IP アドレスを取得しないため、DHCP ネゴシエーションが禁止されます。これらのサーバーに IP アドレスを静的に割り当てても解決できませんが、sFlow に使用される VLAN で静的 IP アドレスを使用することは推奨されません。

注記: Virtual Connect ファームウェアにのみ適用されます。

推奨処置

- ・ IVR VLAN は sFlow エージェントにのみ使用し、他のルーティング目的には使用しないでください。
- ・ sFlow エージェントには IVR L3 VLAN を使用し、他のスイッチング目的には別の L2 VLAN を使用します。

停電からの復旧により、HPE OneView のインターコネクトモジュールが未構成の状態のままになる

問題

HPE OneView は、停電から復旧した後、インターコネクトモジュールを構成できません。

エンクロージャーの停電時に、LLDP タギングが有効になっている論理インターコネクトに関連付けられているインターコネクトで、Configuring から ConfigError への過渡的な状態変化が発生します。

推奨処置

インターコネクトモジュールをリセットして、エラー状態から復旧させます。

カスタマイズされた帯域幅構成が論理インターコネクト GUI に表示されない

問題

HPE OneView 論理インターコネクト GUI は、インターコネクトが次のデフォルト帯域幅を持つ 24 個すべてのダウンリンクポートで構成されている場合、カスタマイズされた帯域幅構成を表示しません。

最小帯域幅構成 = 50% および最大帯域幅 = 100%。

推奨処置

推奨されるアクションはありません。

ブラウザーに HPE OneView インターフェイスが表示されない

問題

ブラウザーのキャッシュがいっぱいであるため、ブラウザーに HPE OneView インターフェイスが表示されません。

推奨処置

1. ブラウザーのキャッシュをクリアして、再試行します。
2. ブラウザーを更新するか、再ロードします。

IP アドレスの変更が原因で HPE OneView のデバイスにアクセスできない

問題

HPE OneView アプライアンスの IP アドレスをサブネット間で変更すると、以前のサブネット内の監視対象デバイスまたは管理対象デバイスにアクセスできなくなります。

推奨処置

アプライアンスを再起動します。

HPE OneView でサーバープロファイルを正常に削除できない

問題

HPE OneView は、複数のプロファイルの削除が同時に試行された場合、または HPE OneView アプライアンスの負荷が高い場合、サーバープロファイルを削除できません。

推奨処置

サーバープロファイルを削除するアクションを再度実行します。

注記: 削除アクションを完了できるまで、複数回実行する必要がある可能性があります。

複数のクラスタープロファイルの作成またはインポート後に、整合性確認に時間がかかる

問題

大規模環境では、複数のクラスタープロファイルを作成またはインポートすると、HPE OneView で多数のハイパーバイザーマネージャーイベントが生成されます。整合性の修復は、チェックを完了してアラートをクリアするのに時間がかかります。

推奨処置

このような場合は、約 10 分間待ってから、クラスタープロファイルで操作を実行します。

HPE iLO の Active Health System が、HPE OneView によって管理されるサーバーハードウェアの変更を記録できない

問題

Remote Support を使用すると、通常スケジュールされている AHS ログの収集が完了せず、次のメッセージが表示される場合があります。

操作は予定よりも時間がかかっています。

推奨処置

iLO Active Health の収集を手動で再実行します。

HPE OneView の接続のコンプライアンス確認が正しくない

問題

サーバープロファイルをサーバープロファイルテンプレートと一致させる自動修正が失敗し、サーバープロファイルでポート設定が変更されたときにコンプライアンスの問題が発生します。

推奨処置

プロファイルのポート設定を手動でアップデートして、テンプレートに一致させます。

サーバーのプロファイル設定とサーバーのハードウェア構成との不一致が、リストア、バックアップ、および再イメージ後に報告される

問題

リストア、バックアップ、および再イメージ後にサーバーハードウェアを更新すると、次の不整合アラートが返されることがあります。

サーバープロファイル設定がサーバーハードウェア構成と競合します。

推奨処置

1. サーバーの電源を切断します。
2. サーバープロファイルを再適用します。

ダウンリンク速度が変更されると、構成されたローカルポート監視が機能しなくなる

問題

Synergy 用 Virtual Connect SE 100Gb F32 モジュールとの論理インターコネクットのダウンリンク速度が変更されると、アナライザーポートとして構成されたダウンリンクポートに関連付けられたローカルポート監視が動作を停止します。

推奨処置

影響のある論理インターコネクットに構成を再適用します。



iLO の CNSA モードの制限事項

管理対象サーバーの iLO が Commercial National Security Algorithm (CNSA) モード、またはスイート B モードの場合、HPE OneView コンソールから iLO ユーザーインターフェイスまたはコンソールにアクセスすることはできません。

英語以外のディレクトリサーバーのグループ名が一部のブラウザで表示されない

問題

ディレクトリサーバーが、中国語や日本語など英語以外のグループ名で構成されているサーバーであり、Microsoft Internet Explorer 11、Firefox 57 以降、または Chrome 64 以降のブラウザが使用されている場合は、中国語または日本語のグループ名を選択した後に、グループの追加操作を行っても構成済みのグループがリストに表示されません。このことは、Active Directory、または Open LDAP ディレクトリにも当てはまります。

推奨処置

Microsoft Edge を使用します。

iLO 5 の HPE OneView SNMP 構成に関する問題

iLO 5 が管理対象サーバーでリセットされたときに、HPE OneView の管理対象サーバーハードウェアが即時に更新された場合、SNMP の構成に整合性がなく、iLO 5 からの SNMP トラップが HPE OneView で受信されません。

推奨処置

iLO が応答を開始した後に約 1 分待ってから、HPE OneView でサーバーを再度更新してください。これにより、iLO の SNMP 設定がリストアされ、HPE OneView がサーバーの監視と管理を継続できるようになります。

HPE OneView の Web サーバー証明書をアップデートできない

問題

HPE OneView へのアップデートが、以下の場合に成功しないことがあります。

- ・ アプライアンスの Web サーバー証明書の有効期限が切れている。
- ・ アプライアンスの Web サーバー証明書が 24 時間以内に期限切れになる。

次のエラーメッセージが表示されます。

エラーアプライアンスの Web サーバー証明書の有効期限が切れているか、古い証明書に戻されています。アップグレードを続行できません。新しいアプライアンスの自己署名証明書を再生成するか、新しい CA 署名アプライアンス証明書を再インポートしてください。その後、アップデートを再度実行してください。

推奨処置

1. アプライアンスの証明書が有効であることを確認します。以下の項目は、無効な証明書を示していません。

- ・ 証明書の有効期限が切れている場合、または証明書が 24 時間以内に期限切れになる場合。
- ・ 証明書が SHA1 証明書の場合。
- ・ 証明書で以前その証明書に対して構成された組織情報が失われている場合。アプライアンス証明書が期限切れになり、アップデートされた証明書をインストールする前にアプライアンスを再起動すると、一部の情報が失われる可能性があります。
- ・ 以前は CA の署名済み証明書をインストールしていたものの、現在のアプライアンス証明書がインストール済みの証明書ではない場合。アプライアンス証明書が期限切れになり、アップデートされた証明書をインストールする前にアプライアンスを再起動すると、正しくない証明書が表示されることがあります。

このような場合は、アプライアンスの自己署名証明書を再生成するか、新しい CA 署名済み証明書をインポートします。

2. その後、アップデートを再度実行します。

スキャンツールによって脆弱な SSH 暗号の問題が報告される

問題

Nessus などのセキュリティ脆弱性スキャンツールによって、HPE OneView の SSH サーバーが、攻撃者による暗号文からプレーンテキストメッセージへの復元が可能になる暗号ブロック連鎖 (CBC) 暗号化をサポートしていると報告されます。

推奨処置

現時点では、対処は不要です。

スキャンツールからの間違った報告です。この報告は、2008 年で検出された Secure Shell プロトコルの問題を説明する CVE-2008-5161 への参照です。ただし、この SSH プロトコルの脆弱性は HPE OneView に先行して、2009 年に修正されました。すべての HPE OneView のバージョンには、この問題に対して脆弱ではない SSH サーバーが用意されています。

CVE-2008-5161 の詳細については、<https://community.arubanetworks.com/t5/Wireless-Access/SSH-and-AES-CBC/td-p/248919> を参照してください。

異なる展開ネットワークで別の論理エンクロージャーにサーバープロファイルを移動できない

問題

OS 展開設定で構成されたサーバープロファイルを別の論理エンクロージャーおよび展開ネットワークに移行すると、展開の接続が、新しく選択されたエンクロージャーグループで構成されたネットワークによって更新されず、プロファイルアップデートで次のエラーが表示されます。

プロファイルを更新できません: プロファイルが OS 展開設定で構成されている場合は、IP アドレスソースは "SubnetPool" にのみ設定できます。

推奨処置

エンクロージャーグループを変更した後のサーバープロファイルのアップデート操作中に、以下の手順を実行してください。



1. 展開プランの割り当てを解除します。
2. 展開接続を削除します。
3. 展開プランの再割り当てを行います。

ESXi FCoE Boot from SAN

問題

ESXi 6.0 レガシードライバーを使用して Boot from SAN を実行するときに、ブート対象のサーバーを介した VLAN が削除、リストア、または交換された場合、ESXi サーバーにより SAN へのアクセスが削除されます。

推奨処置

ESXi サーバーの電源をオンにしてブートするときにアップリンクセットに VLAN をリストアして、SAN へのアクセスをリストアします。

期限切れの証明書を解決するための指示の不一致

問題

アプライアンスの Web サーバー証明書の有効期限が切れると、HPE OneView で以下のアラートが表示されます。

アプライアンスの Web サーバー証明書の有効期限が切れています

推奨処置

アプライアンスの Web サーバー証明書を再インポートするか構成します。アプライアンスの Web サーバー証明書を構成するには、以下の手順を実行します。

1. HPE OneView アプライアンスにログインします。
2. OS 展開サーバーをクリックします。
3. イメージストリーマー UI に対するイメージストリーマーアプライアンスの IP アドレスをクリックします。
ブラウザの新しいタブでイメージストリーマーアプライアンスの UI が開きます。
4. 展開アプライアンスをクリックします。
5. アクションをクリックします。
6. CA 署名証明書を構成するには、自己署名証明書の作成を選択するか、アプライアンス証明書署名リクエストを作成するオプションを選択します。

ToR スイッチが送信モードで構成されている場合、HPE Synergy 4820C 10/20/25Gb コンバインドネットワークアダプターからの FCoE 接続でファブリックログインリクエストに失敗する

問題

トップオブラック (ToR) スイッチが送信モードで構成されている場合、HPE Synergy 4820C 10/20/25Gb コンバージドネットワークアダプターからの Fibre Channel over Ethernet (FCoE) 接続でファブリック ログインリクエストに失敗します。その結果、ターゲット上でプロビジョニングされている論理ユニット番号 (LUN) が、ホスト上で表示されません。

推奨処置

ToR スイッチの構成を、インターコネクต์モジュールでサポートされているいずれかのモードに変更します。

HPE Synergy 40Gb F8 スイッチモジュールでは、Fibre Channel Forwarder (FCF) と N-Port Virtualization (NPV) の両方のモードがサポートされます。ただし、モジュールでは送信モードがサポートされません。

HPE OneView は、3PAR および Primera Persistent Ports ペアのさまざまなインターコネクต์モジュールへの直接接続をサポートすることができない

アプライアンスは、3PAR StoreServ または Primera アレイのポートのペアが Persistent Ports のフェイルオーバー用に構成され、エンクロージャー上の 2 つの異なるインターコネクต์モジュールに直接接続するようにケーブル接続されているストレージ構成をサポートしていません。

推奨処置

アレイの Persistent Port 機能 (アレイのすべてのポートで) を無効にするか、直接接続ケーブルを変更して、パートナーとなっているポートが同じインターコネクต์モジュールに確実に接続されるようにします。

HCP (ハイパーバイザークラスタープロファイル) をインポートすると、無効な OS 展開プランを設定することができる

問題

HCP をインポートすると、OS 展開設定が適切なサーバープロファイルテンプレートに関連付けられているエンクロージャーグループで構成されていない場合でも、無効な OS 展開プランを設定することができます。インポートが完了すると、これにより HCP で不整合が報告される結果となります。HCP でこれらの不整合は修正されません。

推奨処置

HCP をインポートするときに、展開プランを HCP に適用できない場合、有効な展開プランを指定するか、展開プランを 'None' として指定します。



HPE OneView 5.2 および 5.20.01 (HPE Synergy 用) に関する注意

HPE Synergy コンポーザーとサポートされるフレーム数

HPE Synergy コンポーザー (第 1 世代) (804353-B21 または 804353-B22) が、HPE OneView 5.2 を実行している場合、単一の管理リング内でサポートされる管理対象フレームの数は、最大 12 フレームに制限されます。12 を超えるフレーム数を保持して、HPE Synergy コンポーザー 2 (872957-B21 または 872957-B22) にアップグレードできるようにして、サポート対象構成を維持するか、または修復手順について HPE のアカウントチームに連絡することをお勧めします。

セキュリティが強化された HPE Synergy 12Gb SAS 接続モジュールの動作

HPE OneView 5.2 は、安全な TLS 通信を実現するために、デフォルトで強力な証明書チェックを実行します。サービスの障害を回避するために、HPE OneView 5.2 のアップグレード手順では、接続モジュールのファームウェアバージョンをチェックします。接続モジュールのファームウェアバージョンが 1.5.xx の最小レベルより低い場合、**およびリーフ証明書の期限切れをチェックするオプション**が HPE OneView の[セキュリティ]設定で有効になっている場合、HPE OneView はアップグレードプロセスを終了します。

拡張セキュリティチェックをサポートするために、まず SAS 接続モジュールのファームウェアを 1.5.xx にアップデートした後に、HPE OneView 5.2 バージョンにアップグレードすることをお勧めします。

HPE OneView の設定 > セキュリティ画面には、期限切れのデバイス証明書を無視するオプションがあります。このオプションはデフォルトで無効です。

または、HPE OneView を 5.0 以降にアップグレードする前に、設定 > セキュリティを編集し、**リーフ証明書の期限切れをチェックするオプション**を無効にします。SAS 接続モジュールのファームウェアをアップデートした後、HPE OneView 5.2 の設定 > セキュリティ画面を編集し、**リーフ証明書の期限切れ**をチェックするオプションを再度有効にします。

このオプションが無効になっている HPE OneView アプライアンスの場合、HPE OneView 5.2 アップグレードは SAS 接続モジュールの最小ファームウェアリビジョンチェックをスキップし、アップグレードの続行を許可します。アップグレード後、接続モジュールのアラートが表示され、強力な証明書チェックを有効にするにはファームウェアアップデートが必要であることが説明されます。このアラートを解消するには、アラートで提案された解決策の手順に従ってください。

注記: HPE OneView 5.2 アップグレード後に、ファームウェアアップデートを実行してから、**リーフ証明書の期限切れ**をチェックするオプションを有効にすることが重要です。

Google アナリティクスの使用

HPE OneView 4.2 以降では、Google アナリティクスとの統合が導入されました。匿名ユーザーインターフェイスの使用状況データは、ユーザーのブラウザから Google アナリティクスに送信されます。これにより、HPE は製品の使用方法と改善方法を理解できます。Hewlett Packard Enterprise では、個人情報を収集しません。

ユーザーは、HPE OneView エンドユーザーライセンス契約 (EULA) に同意するときに、HPE OneView の Google アナリティクスの使用をオプトインします。

EULA には、Hewlett Packard Enterprise のプライバシーポリシー (<https://www.hpe.com/us/en/legal/privacy.html>) およびデータ収集へのリンク (<https://www.hpe.com/us/en/legal/privacy.html#datacollection>) が含まれており、Google アナリティクスのトラッキングをオプトアウトする方法について説明しています。

HPE OneView の管理者は、設定 > セキュリティ > アクションメニュー > **製品の改善メニュー**を使用して、Google アナリティクスの追跡をオプトアウトすることもできます。

追加情報 :

- ・ 収集される情報は、標準的な Google アナリティクスデータであり、追加されるのは現在使用している HPE OneView のバージョンのみです。
- ・ HPE OneView Global Dashboard も、リリース 1.5 から Google アナリティクスを統合しています。

サポートされる iSCSI ブート構成

次のパラメーターがサポートされています。

- ・ IPv4
- ・ 静的 IP アドレスと DHCP 割当て済み IP アドレス
- ・ SW iSCSI (ソフトウェアイニシエーター) および HW-iSCSI (iSCSI オフロード、ハードウェア支援イニシエーター)

iLO 4 デバイスの管理

iLO 4 を使用するデバイスを管理する場合、HPE OneView 4.0 以降は、iLO 4 ファームウェアバージョン 2.55 以降で最適に動作します。お客様のデバイスに iLO 4 ファームウェアバージョン 2.3x をお持ちの場合は、Hewlett Packard Enterprise は、お持ちの iLO 4 ファームウェアをバージョン 2.55 以降にアップデートしてから HPE OneView 3.0 以降を用いたデバイス管理を開始されることを強くお勧めします。

システムボードの交換

サーバーがメンテナンスのために取り外された場合、ネットワークセキュリティの検証が完了しない場合は、HPE OneView (HPE Synergy 用) の電源がオンになりません。新しいサーバーが取り付けられると、HPE Synergy は同じサーバーと構成が使用されているかどうかをチェックします。元のサーバーの UUID が新しく取り付けられたサーバーの UUID と一致する場合、自動的にサーバーの電源がオンになります。ただし、元のサーバーの UUID が新しく取り付けられたサーバーの UUID と一致しない場合、サーバープロファイルには新しいサーバーが認識されないことを示すエラーが表示されます。同じハードウェアタイプの同じサーバーが取り付けられているが、HPE Synergy によって認識されていない場合は、再度適用と取り付けを行う必要があります。または、新しいサーバーが元のサーバーと一致しない場合、サーバープロファイルを削除し、一致する正しいサーバーを取り付ける必要があります。

システムボードを交換する場合、UUID を UEFI システムユーティリティを通じて手動で再プログラミングし、サーバーを再起動して、サーバープロファイルの割り当てを解除する必要があります。これにより、サーバーの電源がオンになり、新しいサーバーを受け入れるように UUID を再プログラミングできるようになります。新しいサーバーで POST サイクルが完了すると、サーバープロファイルは新しく取り付けられたサーバーに再び割り当てられます。

不要なアラートの削減

アラート基準 (設定 > 通知 > アラートメールフィルターを追加) のデフォルトの選択項目は、すべてのアラートからすべてのクリティカルまたは警告アラートに変更されます。

すべてのアラートの通知を受信するには、選択されているアラート基準がすべてのアラートであることを確認してください。

MD5 証明書アラートの処理

iLO 2 管理プロセッサを搭載したサーバーなどの古いデバイスでは、MD5 ハッシュアルゴリズムに基づくデジタル署名付きのトランスポート層セキュリティ (TLS) 証明書を使用できます。このような証明書は深刻なセキュリティリスクをもたらします。MD5 アルゴリズムは、モデム証明書のデジタル署名用の SHA-256 などのセキュアハッシュアルゴリズムで置き換えられています。

MD5 デジタル署名付きの証明書の使用は、HPE OneView 4.1 から非推奨になりました。HPE OneView 4.2 では、警告アラートは MD5 証明書で送信されます。将来の HPE OneView リリースでは、これらの MD5 証明書はブロックされ、MD5 証明書を使用する管理対象デバイスとの通信は障害が発生します。

HPE OneView 4.2 は、トラストストア内の証明書のステータスを定期的にチェックします。MD5 ハッシュアルゴリズムを使用する証明書が見つかった場合、次のアラートが表示されます。

- ・ **メッセージ** : エイリアス名<エイリアス名>を持つ証明書は、MD5 ハッシュアルゴリズムによる安全でないデジタル署名を使用しています。
- ・ **解決策** : MD5 デジタル署名を使用した証明書は安全ではなく、非推奨です。将来の HPE OneView リリースでサポートされなくなります。デバイス証明書の場合は、強力なデジタル署名を使用して証明書をアップデートします。CA ルート証明書または中間証明書の場合は、PKI 管理者と協力して証明書をアップデートします。

注記: 証明書をアップデートするには、管理対象デバイスのファームウェアをアップデートする必要があります。

これらの MD5 証明書は、**設定 > 証明書の管理**画面の HPE OneView で非推奨とマークされます。

iLO 2 では、すべての HPE OneView iLO 2 ファームウェアバージョンが SHA ベースの証明書をサポートしています。ただし、iLO ファームウェアのアップグレードでは、デバイスの既存の証明書は変更されません。iLO の工場出荷時のリセット操作と iLO のホスト名を変更する場合のみ、iLO の自己署名証明書を再生成できます。同様に、認証機関が発行した証明書にも MD5 デジタル署名が含まれている可能性があります。アップデートされた証明書を取得するには新しい iLO 証明書の署名要求が必要です。詳しくは、iLO ユーザーガイドを参照してください。

HPE OneView /rest/certificates REST API を使用すると、証明書に MD5 デジタル署名を使用しているデバイスを特定できます。HPE OneView PowerShell インターフェイス、POSH-HPOneView は <https://hewlettpackard.github.io/POSH-HPOneView> から入手して、使用できます。

以下に例を示します。

- ・ `Connect-HPOVMgmt -Hostname <your appliance> -Username <OneView username> [-AuthLoginDomain <AD or LDAP domain>]`
- ・ `$certs = Send-HPOVRequest "/rest/certificates"`
- ・ `$md5certs = @()`
- ・ `$certs.members | foreach-object {$md5certs += New-Object PSObject -property@{commonName=$_.certDetails.commonName; aliasName=$_.aliasName; signature=$_.certDetails.signatureAlgorithm }}`
- ・ `$md5certs | ? {$_.signature -match "MD5" } | format-table`

注記: この方法では、HPE OneView トラストストアに存在する証明書のみを識別します。証明書には、認証機関のルート証明書と中間証明書、およびデバイスの自己署名証明書が含まれます。CA ルートおよび中間証明書の場合、デバイスのリーフ証明書は HPE OneView トラストストアに存在しません。

ドキュメントの補足 5.2

HPE OneView Synergy 5.2 ヘルプの以下のトピックで、HPE Synergy 用 Mellanox SH2200 TAA スイッチモジュールのサポートに関する記述が誤っていました。

- ・ sFlow 設定
- ・ HPE Virtual Connect FC モジュールのトランキング

HPE Synergy インターコネクタ用の Mellanox SH2200 TAA スイッチモジュールは、HPE OneView で管理できません。



HPE Synergy のドキュメントリソース

Hewlett Packard Enterprise Information Library (<https://www.hpe.com/info/synergy-docs>) では、インストール手順書、ユーザーガイド、メンテナンスおよびサービスガイド、ベストプラクティス、追加リソースへのリンクなど、すべての HPE Synergy ドキュメントを包括的に 1 箇所に集めたライブラリを提供します。ライブラリは、検索性を向上させるフィルタリングをサポートしています。

ドキュメント:

以下を提供:

HPE Synergy ソリューション

はじめに	ハードウェアのインストールから HPE OneView の構成まで、HPE Synergy ソリューションの初回セットアップ手順。
リリースノート	HPE Synergy、HPE Synergy イメージストリーマー、HPE OneView などの製品のリリースの説明、新機能、ドキュメントのアップデート、問題と推奨処置。
移行ガイド	HPE Synergy コンポーザーから HPE Synergy コンポーザー 2 への移行、および HPE Synergy フレームリンクモジュールから HPE Synergy 4 ポートフレームリンクモジュールへの移行に関する情報。
HPE Synergy アプライアンスのファームウェアの確認 : HPE Synergy アプライアンスの初期セットアップの準備	システムでの初期使用のために HPE Synergy アプライアンスを準備する手順。
アプライアンスユーザーガイド	アプライアンスのモジュール管理、構成、およびセキュリティの概要。
ケーブル接続ガイド	管理ネットワーク、HPE Synergy イメージストリーマー、インターコネクト、および電源のケーブル接続例。
構成および互換性ガイド	HPE Synergy 管理とファブリックアーキテクチャー、詳細なハードウェアコンポーネントの識別、およびハードウェアコンポーネントの構成要件の概要。
フレームリンクモジュールユーザーガイド	HPE Synergy 4 ポートフレームリンクモジュール、HPE Synergy フレームリンクモジュール、および HPE Synergy 管理コンソールの管理、構成、およびセキュリティに関する情報。
Power Management Overview Guide	HPE Synergy が HPE Synergy 12000 フレームの電力使用量を管理する方法に関する追加の詳細情報。
トラブルシューティングガイド	一般的な問題を解決するための情報、および障害の分離と特定、問題の解決、およびメンテナンスのための一連のアクション。
エラーメッセージガイド	特定のエラーメッセージに関連する問題を解決するための情報。
ドキュメントマップ	必要な HPE Synergy ドキュメントをフィルタリングして見つけるための説明マップ。
用語集	製品の理解と、HPE Synergy エコシステムの習熟に役立つ用語、説明、および図面。

HPE Synergy イメージストリーマー

表は続く

ドキュメント:	以下を提供:
展開ワークフロー	OS 展開用の HPE Synergy イメージストリーマーのセットアップに関連するさまざまな手順のインタラクティブな説明、および手順の詳細な指示を含むさまざまなドキュメントへの参照。
サポートマトリックス	HPE Synergy イメージストリーマーに関する、ソフトウェアおよびファームウェアの最新要件、サポート済みハードウェア、および最大構成。
ユーザーガイド	HPE Synergy イメージストリーマーを使用した OS 展開プロセス、HPE Synergy イメージストリーマーの機能、および HPE Synergy イメージストリーマーアーティファクトの目的とライフサイクル。また、HPE Synergy イメージストリーマーの認証、権限付与、およびトラブルシューティングに関する情報も含まれます。
GitHub	サンプルアーティファクトと、サンプルアーティファクトの使用法に関するドキュメントが含まれるレポジトリ (github.com/HewlettPackard)。また、HPE Synergy イメージストリーマーを使用して実行できる展開手順について説明するテクニカルホワイトペーパーも含まれます。
ヘルプ	HPE Synergy イメージストリーマーの基本的な概念とユーザーインターフェイススペースのタスクに関する情報。
HPE OneView (HPE Synergy 用)	
サポートマトリックス (HPE Synergy 用)	HPE OneView に関する、ソフトウェアおよびファームウェアの最新要件、サポート済みハードウェア、および最大構成。
ユーザーガイドおよびヘルプ (HPE Synergy 用)	リソース機能、プランニングタスク、クイックスタートタスクの構成、グラフィカルユーザーインターフェイスのナビゲーションツール、および HPE OneView のサポートと参照情報。
Global Dashboard のユーザーガイドおよびヘルプ	HPE OneView Global Dashboard のインストール、構成、ナビゲーション、およびトラブルシューティングについての説明。
HPE Synergy のトラブルシューティングガイド	HPE Synergy Composer に組み込まれている HPE OneView の一般的なトラブルシューティング手順。
トラブルシューティングの資料	ツール、オンラインヘルプ、トラブルシューティングガイド内のトラブルシューティング画面。

HPE Synergy ファームウェアアップデートリソース

HPE OneView (HPE Synergy 用) : 以下を提供 :

ファームウェアおよびドライバのアップデートガイド
 ファームウェアおよびドライバーをアップデートするための推奨のベストプラクティスに関する情報。

HPE Synergy ソフトウェアリリース情報サイト (<https://www.hpe.com/info/synergy-sw-release-information>) では、ファームウェアアップデート情報のインタラクティブリソースを提供します。HPE Synergy ファームウェアアップデートリソースは、HPE OneView 内でも利用できます。

図 1: HPE Synergy ソフトウェアリリース情報

HPE Synergy Software Release Information

HPE SYNERGY SOFTWARE OVERVIEW & DOWNLOADS

[HPE Synergy Software Releases - Overview](#)

[HPE Synergy Software Releases - What's New?](#)

HPE SYNERGY SOFTWARE RELEASE TOOLS

[HPE Synergy Firmware Comparison Tool](#)

[HPE Synergy Firmware Feature Comparison Table](#)

[HPE Synergy Upgrade Paths](#)

[VMware OS Support for HPE Synergy](#)

OTHER RESOURCES

[Upgrade Paths for Past HPE Synergy Releases](#)

[Identifying Upgrade Paths](#)

[HPE Synergy Resources](#)

[Hewlett Packard Enterprise Information Library](#)

HPE Synergy Software Releases - Overview

HPE Synergy Software Releases, comprised of HPE Synergy Management combinations (a versioned set of Composer and Image Streamer software) and HPE Synergy Custom SPPs, are available for customers to download and use on products under an active HPE Warranty or an HPE Support Agreement.

HPE Synergy Management combinations and supported HPE Synergy Custom SPPs

This table identifies the HPE Synergy Custom SPPs supported by the various management combinations. An HPE Synergy Custom SPP is considered supported if it is listed in the row with the selected management combination. **Recommended versions** and associated HPE Synergy Custom SPPs are shown in **bold** font.

NOTE: HPE Synergy Custom SPPs marked in red will reach end-of-support (EOS) in May 2020.

Select a management combination to access the HPE Support Center page, where you can view additional information and download software and firmware for the selected management combination.

HPE SYNERGY CUSTOM SPPS				
HPE SYNERGY MANAGEMENT combinations	NOV Core SPP 2018.11.0	MAR Core SPP 2019.03.1	SEP Core SPP 2019.09.0	DEC Core SPP 2019.12.0
	End-of-Support: May 2020			
HPE Synergy 5.0 Release				
Composer (HPE OneView) 5.00.02 & Image Streamer 5.00.01				

HPE Synergy ソフトウェア リリース情報サイト : 以下を提供 :

Overview	ダウンロードページおよび関連する Synergy カスタム SPP へのリンクが記載された HPE Synergy 管理ソフトウェアの組み合わせのリスト。
What's new	HPE Synergy リリースの新機能のリスト。
Firmware Comparison Tool	選択された HPE Synergy 管理ソフトウェアの組み合わせによってサポートされる HPE Synergy カスタム SPP を比較するために使用する HPE Synergy 管理ソフトウェアの組み合わせリスト。このツールは、以前の管理ソフトウェアの組み合わせと互換性があるカスタム SPP を確認する場合にも役立ちます。
Firmware Feature Table	選択された HPE Synergy 管理ソフトウェアの組み合わせによってサポートされる HPE Synergy カスタム SPP を比較するために使用するファームウェア機能のリスト。
Upgrade Paths Table	HPE Synergy コンポーザーと HPE Synergy イメージストリーマーのアップグレードパス、および HPE Synergy 管理ソフトウェアの組み合わせに関する情報。
VMware OS Support	VMware vSphere OS を HPE Synergy カスタム SPP で使用するための情報と要件。
Upgrade Paths for Past HPE Synergy Releases	過去の HPE Synergy コンポーザーと HPE Synergy イメージストリーマーのアップグレードパス、および HPE Synergy 管理ソフトウェアの組み合わせに関する情報。
Identifying Upgrade Paths	アップグレードパス表の使用方法に関する情報。
HPE Synergy Resources	HPE Synergy の主要なリソースのリスト。
Hewlett Packard Enterprise Information Library	すべての HPE Synergy 製品ドキュメントのソリューションレベルライブラリ。

HPE Synergy ドキュメントの概要 (ドキュメントマップ)

Hewlett Packard Enterprise Information Library (<https://www.hpe.com/info/synergy-docs>) では、インストール手順書、ユーザーガイド、メンテナンスおよびサービスガイド、ベストプラクティス、追加リソースへのリンクなど、すべての HPE Synergy ドキュメントを包括的に 1 箇所に集めたライブラリを提供します。ライブラリは、検索性を向上させるフィルタリングをサポートしています。

さらに、HPE Synergy ソフトウェアリリース情報サイト (<https://www.hpe.com/info/synergy-sw-release-information>) では、ソフトウェアリリース情報のインタラクティブリソースを提供します。

ソフトウェアリリース情報	管理
<ul style="list-style-type: none">・ HPE Synergy Software releases - Overview・ HPE Synergy Software releases - What's new・ HPE Synergy Firmware Comparison Tool・ HPE Firmware Feature Comparison Table・ HPE Synergy Upgrade Paths・ VMware OS Support Tool for HPE Synergy・ Upgrade Paths for Past HPE Synergy Releases・ Identifying Upgrade Paths・ HPE Synergy Resources	<ul style="list-style-type: none">・ HPE OneView (HPE Synergy 用) ユーザーガイド・ HPE Synergy イメージストリーマーヘルプ・ HPE Synergy イメージストリーマーユーザーガイド・ HPE Synergy イメージストリーマー API リファレンス・ HPE Synergy イメージストリーマー展開ワークフロー・ HPE Synergy フレームリンクモジュールユーザーガイド
プランニング	監視
<ul style="list-style-type: none">・ HPE Synergy 移行ガイド・ HPE Synergy 12000 Frame Site Planning Guide・ HPE Synergy 構成および互換性ガイド・ HPE OneView (HPE Synergy 用) サポートマトリックス・ HPE Synergy イメージストリーマーサポートマトリックス・ Setup Overview for HPE Synergy・ HPE Synergy Software Overview Guide	<ul style="list-style-type: none">・ HPE OneView (HPE Synergy 用) ユーザーガイド・ HPE OneView Global Dashboard ユーザーガイド

表は続く



ハードウェアの取り付け

- ・ HPE Synergy はじめに（フレームに付属）
- ・ HPE Synergy 12000 フレームセットアップ/インストールガイド
- ・ HPE ラックレールインストール手順 HPE Synergy 12000 フレーム用（フレームに付属）
- ・ HPE Synergy 12000 Frame Rack Template（フレームに付属）
- ・ フードラベル
- ・ ユーザーガイド
- ・ HPE Synergy ケーブル接続ガイド
- ・ HPE OneView（HPE Synergy 用）ヘルプ — ハードウェアセットアップ

メンテナンス

- ・ Product maintenance and service guides
- ・ HPE OneView for HPE Synergy Firmware and Driver Update Guide
- ・ HPE OneView（HPE Synergy 用）ヘルプ
- ・ HPE OneView（HPE Synergy 用）ユーザーガイド
- ・ HPE Synergy Appliances Maintenance and Service Guide

管理および監視の構成

- ・ HPE OneView（HPE Synergy 用）ヘルプ
- ・ HPE OneView（HPE Synergy 用）ユーザーガイド
- ・ HPE OneView API Reference for HPE Synergy
- ・ ユーザーガイド
- ・ HPE Synergy ソフトウェアリリース情報サイト

トラブルシューティング

- ・ HPE OneView アラートの詳細
 - ・ HPE Synergy トラブルシューティングガイド
 - ・ HPE ProLiant Gen10 サーバーおよび HPE Synergy エラーメッセージガイド
 - ・ HPE ProLiant Gen10 および HPE Synergy 用のインテグレートドマネジメントログメッセージおよびトラブルシューティングガイド
 - ・ HPE OneView API Reference for HPE Synergy
 - ・ HPE OneView トラブルシューティングガイド（HPE Synergy 用）
 - ・ HPE Synergy イメージストリーマー API リファレンス
-

Web サイト

全般的な Web サイト

Hewlett Packard Enterprise Information Library

<https://www.hpe.com/info/enterprise/docs>

Hewlett Packard Enterprise Worldwide

<https://www.hpe.com/assistance>

サブスクリプションサービス/サポートのアラート

<https://www.hpe.com/support/e-updates-ja>

上記以外の Web サイトについては、[サポートと他のリソース](#)を参照してください。

製品の Web サイト

HPE OneView のドキュメント

<https://www.hpe.com/info/synergy-docs>

HPE 3PAR StoreServ ストレージ

<https://www.hpe.com/info/storage>

HPE Integrated Lights-Out (iLO)

<https://www.hpe.com/jp/servers/ilo>

Insight Remote のドキュメント

<https://www.hpe.com/info/insightremotesupport/docs>

HPE Primera のドキュメント

<https://www.hpe.com/info/Primera600-docs>

HPE Insight Control のドキュメント

<https://www.hpe.com/info/insightcontrol/docs>

HPE OneView Global Dashboard のドキュメント

<https://www.hpe.com/info/ovgd-docs>

Smart Update (SUM/SPP/iSUT/iSUT) のドキュメント

<https://www.hpe.com/info/sut-docs>

Single Point of Connectivity Knowledge (SPOCK) の Storage compatibility matrix

<https://www.hpe.com/storage/spock>

ストレージのホワイトペーパーおよび分析レポート

<https://www.hpe.com/storage/whitepapers>



HPE OneView Remote Technician

HPE OneView Remote Technician を使用すると、問題のトラブルシューティングおよび解決のサポートが迅速かつ容易になります。招待により、認証された Hewlett Packard Enterprise サポート技術者が、問題のトラブルシューティングと診断に安全な TLS 接続を通じて HPE OneView アプライアンスにアクセスします。FTP サイトを必要としないログの直接ダウンロードなど、信頼されたサポート技術者が問題を診断する際に現場にいる必要がありません。

HPE OneView Remote Technician は、追加のアプリケーションなしで HPE OneView 4.1 以降に組み込まれています。

詳細情報

HPE OneView (HPE Synergy 用) ヘルプの「HPE OneView アプライアンスへのリモートアクセスサービスの構成」。



サポートと他のリソース

Hewlett Packard Enterprise サポートへのアクセス

- ・ ライブアシスタンスについては、Contact Hewlett Packard Enterprise Worldwide の Web サイトにアクセスします。

<https://www.hpe.com/info/assistance>

- ・ ドキュメントとサポートサービスにアクセスするには、Hewlett Packard Enterprise サポートセンターの Web サイトにアクセスします。

<https://www.hpe.com/support/hpesc>

ご用意いただく情報

- ・ テクニカルサポートの登録番号（該当する場合）
- ・ 製品名、モデルまたはバージョン、シリアル番号
- ・ オペレーティングシステム名およびバージョン
- ・ ファームウェアバージョン
- ・ エラーメッセージ
- ・ 製品固有のレポートおよびログ
- ・ アドオン製品またはコンポーネント
- ・ 他社製品またはコンポーネント

アップデートへのアクセス

- ・ 一部のソフトウェア製品では、その製品のインターフェイスを介してソフトウェアアップデートにアクセスするためのメカニズムが提供されます。ご使用の製品のドキュメントで、ソフトウェアの推奨されるソフトウェアアップデート方法を確認してください。
- ・ 製品のアップデートをダウンロードするには、以下のいずれかにアクセスします。

Hewlett Packard Enterprise サポートセンター

<https://www.hpe.com/support/hpesc>

Hewlett Packard Enterprise サポートセンター：ソフトウェアのダウンロード

<https://www.hpe.com/support/downloads>

My HPE Software Center

<https://www.hpe.com/software/hpesoftwarecenter>

- ・ eNewsletters およびアラートをサブスクライブするには、以下にアクセスします。

<https://www.hpe.com/support/e-updates-ja>

- ・ お客様の資格を表示、アップデート、または契約や保証をお客様のプロファイルにリンクするには、Hewlett Packard Enterprise サポートセンターの **More Information on Access to Support Materials** ページに移動します。



- ❗ **重要:** 一部のアップデートにアクセスするには、Hewlett Packard Enterprise サポートセンターからアクセスするときに製品資格が必要になる場合があります。関連する資格を使って HPE パスポートをセットアップしておく必要があります。

リモートサポート（HPE 通報サービス）

リモートサポートは、保証またはサポート契約の一部としてサポートデバイスでご利用いただけます。リモートサポートは、インテリジェントなイベント診断を提供し、ハードウェアイベントを Hewlett Packard Enterprise に安全な方法で自動通知します。これにより、ご使用の製品のサービスレベルに基づいて、迅速かつ正確な解決が行われます。ご使用のデバイスをリモートサポートに登録することを強くおすすめします。

ご使用の製品にリモートサポートの追加詳細情報が含まれる場合は、検索を使用してその情報を見つけてください。

リモートサポートおよびプロアクティブケア情報

HPE 通報サービス

<http://www.hpe.com/jp/hpalert>

HPE プロアクティブケアサービス

<http://www.hpe.com/services/proactivecare-ja>

HPE データセンターケアサービス

<http://www.hpe.com/services/datacentercare>

HPE プロアクティブケアサービス：サポートされている製品のリスト

<http://www.hpe.com/services/proactivecaresupportedproducts>

HPE プロアクティブケアアドバンストサービス：サポートされている製品のリスト

<https://www.hpe.com/jp/ja/services/proactive-care-central.html>

保証情報

ご使用の製品の保証情報を確認するには、以下のリンクを参照してください。

HPE ProLiant と IA-32 サーバーおよびオプション

<https://www.hpe.com/support/ProLiantServers-Warranties>

HPE Enterprise および Cloudline サーバー

<https://www.hpe.com/support/EnterpriseServers-Warranties>

HPE ストレージ製品

<https://www.hpe.com/support/Storage-Warranties>

HPE ネットワーク製品

<https://www.hpe.com/support/Networking-Warranties>

規定に関する情報

安全、環境、および規定に関する情報については、Hewlett Packard Enterprise サポートセンターからサーバー、ストレージ、電源、ネットワーク、およびラック製品の安全と準拠に関する情報を参照してください。

<https://www.hpe.com/support/Safety-Compliance-EnterpriseProducts>

規定に関する追加情報

Hewlett Packard Enterprise は、REACH（欧州議会と欧州理事会の規則 EC No 1907/2006）のような法的な要求事項に準拠する必要に応じて、弊社製品の含有化学物質に関する情報をお客様に提供することに全力で取り組んでいます。この製品の含有化学物質情報レポートは、次を参照してください。

<https://www.hpe.com/info/reach>

RoHS、REACH を含む Hewlett Packard Enterprise 製品の環境と安全に関する情報と準拠のデータについては、次を参照してください。

<https://www.hpe.com/info/ecodata>

社内プログラム、製品のリサイクル、エネルギー効率などの Hewlett Packard Enterprise の環境に関する情報については、次を参照してください。

<https://www.hpe.com/info/environment>

ドキュメントに関するご意見、ご指摘

Hewlett Packard Enterprise では、お客様により良いドキュメントを提供するように努めています。ドキュメントを改善するために役立てさせていただきますので、何らかの誤り、提案、コメントなどがございましたら、ドキュメントフィードバック担当 (docsfeedback@hpe.com) へお寄せください。このメールには、ドキュメントのタイトル、部品番号、版数、およびドキュメントの表紙に記載されている刊行日をご記載ください。オンラインヘルプの内容に関するフィードバックの場合は、製品名、製品のバージョン、ヘルプの版数、およびご利用規約ページに記載されている刊行日もお知らせください。

